

農林水産省の発表では令和7年産こんにゃくいもの収穫量は3万8500t(前年比25%減少)と、昭和29年以来となる約70年ぶりの不作となりました。これは、令和7年の群馬県における5～9月の平均気温が25.6℃と約130年間で最も高く、降水量が380.5mmと直近30年で最少クラスとなったことによる生育不良が原因です(前橋地方気象台データ)。

このことから現在、こんにゃく製造現場では原料価格の高騰と原料不足が深刻化しています。

